

流動比率・当座比率 経営指標 判定シート

1.数値の準備

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	貸借対照表から流動資産合計額を転記した - 補足：対象期間・連結/個別・確定/速報が一致していること
<input type="checkbox"/>	貸借対照表から流動負債合計額を転記した - 補足：同一の貸借対照表から転記すること
<input type="checkbox"/>	貸借対照表から当座資産の4項目を転記した - 補足：現金預金、受取手形、売掛金、有価証券の合計を当座資産として扱う

2.流動比率の算出

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	流動比率を算出した - 基準：流動比率＝流動資産÷流動負債×100
<input type="checkbox"/>	流動比率の判定区分を付けた <input type="checkbox"/> 99%以下：危険 <input type="checkbox"/> 100～119%：改善の余地あり <input type="checkbox"/> 120～149%：安全水準 <input type="checkbox"/> 150%以上：高い安全性 - 補足：上記は運用基準であり、業種や企業規模による差異を考慮した旨を所見に記録する
<input type="checkbox"/>	統計値との比較を記録した - 補足：法人企業統計などの統計は「比較用」として別欄に記録する

3.当座比率の算出

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	当座資産を算出した - 基準：当座資産＝現金預金＋受取手形＋売掛金＋有価証券
<input type="checkbox"/>	当座比率を算出した - 基準：当座比率＝当座資産÷流動負債×100
<input type="checkbox"/>	当座比率について判定区分を付した <input type="checkbox"/> 99%以下：要注意 <input type="checkbox"/> 100～119%：標準 <input type="checkbox"/> 120%以上：安定性が高い

4.結果の整合確認

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	流動比率が高い一方で当座比率が低い場合、棚卸資産の増加による影響を確認し、在庫の滞留を点検した - 補足：当座比率は早期に現金化しやすい資産で短期債務を評価するため、流動比率との差が大きい場合は内訳確認が必須
<input type="checkbox"/>	売掛金・受取手形が増えている場合、回収遅延リスクを点検した - 補足：当座資産に含まれるため、回収可能性が低いと比率が実態以上に良好に見える
<input type="checkbox"/>	有価証券が含まれる場合、換金可能性と評価損の影響を点検した - 補足：担保差入や流動性の低さがある場合、実質の当座資産性が下がる
<input type="checkbox"/>	流動負債が増加している場合は、その要因となる科目を特定した - 補足：短期借入金、買掛金、未払金など、増加要因を科目単位で記録する

5.業種平均との差の比較

チェック	注意事項
<input data-bbox="160 330 202 372" type="checkbox"/>	業種平均と比較する場合、使用する統計名と公表日を記録した
<input data-bbox="160 511 202 552" type="checkbox"/>	業種平均を記録し、自社との差分を算出した - 補足：業種平均値の引用は、出典と対象年度を必ず併記する

6.改善検討

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	改善施策を資産側と負債側に分け、優先順位を付けた
<input type="checkbox"/>	資産側の改善として売掛金の回収条件・運用の見直しを検討した
<input type="checkbox"/>	資産側の改善として棚卸資産の適正化を検討した
<input type="checkbox"/>	負債側の改善として短期借入金の圧縮、返済条件の見直しを検討した

7.判定結果の確定と記録

チェック	注意事項
<input data-bbox="160 321 202 362" type="checkbox"/>	判定結果を確定し、その結果に対する所見を記録した - 補足：比率、判定区分、主要因、次アクションを含める
<input data-bbox="160 484 202 526" type="checkbox"/>	次回の確認タイミングを決めた - 補足：月次なら翌月の確定後、四半期なら四半期確定後など

チェック漏れ防止のための注意事項

チェック	注意事項
<input type="checkbox"/>	当座資産の定義を固定し、算出方法のブレを作らない
<input type="checkbox"/>	目安値は社内の運用基準であり、統計値は比較用であると区別して記録する
<input type="checkbox"/>	流動比率が良好でも、売掛金や棚卸資産の増加で見かけ上改善している可能性があるため、内訳点検を省略しない
<input type="checkbox"/>	比較に使う業種平均は、統計名・対象年度・公表日を必ず残す

※2026年3月時点の情報をもとに作成しています